



みんなでスクラム

子育て・子育て応援都市 逗子

逗子市次世代育成支援行動計画 概要版

子育てを
地域全体で応援

子どもも親も
共に育つ豊かな環境

すべての子どもが
いきいき育つ

基本目標1

まち全体で子育てを応援します

基本目標2

まちを生かした豊かな遊びと学びの環境を整えます

基本目標3

すべての子どもがいきいきと育つよう支援します

基本目標4

安心して子育てができるまちづくりを進めます

平成17年3月
逗子市

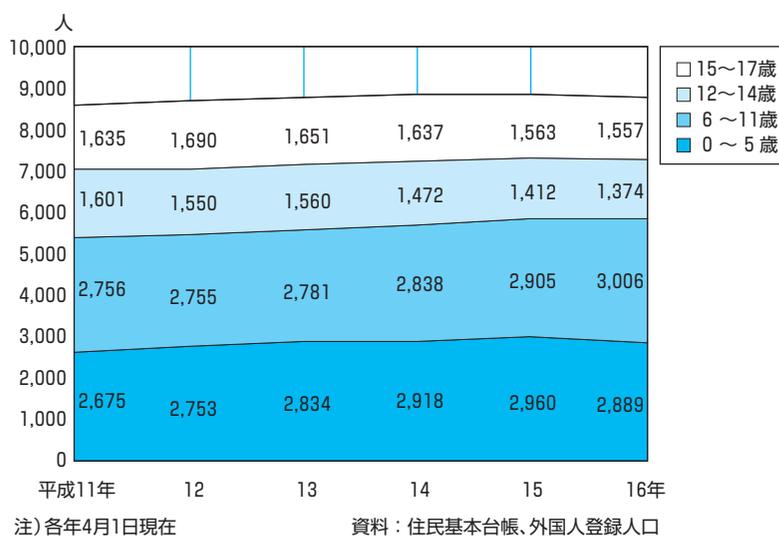
逗子の子ども 子育ての姿



●逗子市の子どもの人口は、長期的には減少する方向にあります●

- ◆本市の総人口は、昭和50年代前半から6万人弱で推移していますが、世帯数は増加を続けてきました。同時に世帯規模は縮小を続け、核家族世帯が70%近くを占めています。
- ◆18歳未満の子どものいる世帯の比率も減少を続けています。
- ◆最近数年間における子どもの人口の動向をみると、0～5歳(就学前世代)、6～11歳(小学生世代)が少しずつ増加しているのに対し、12～14歳(中学生世代)、15～17歳(高校生世代)はやや減少してきました。
- ◆今後5年間の子どもの人口は、12～17歳は概ね横ばい、6～11歳が増加するものの、0～5歳は減少が見込まれます。このままていくと、長期的には減少していくことが予想されます。
- ◆現在約7,500人の子どもが、逗子市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で過ごしています。
- ◆障害のある子どもの数は増えてきており、保育所、幼稚園、学校では可能な範囲で障害児を受け入れています。

18歳未満人口の推移



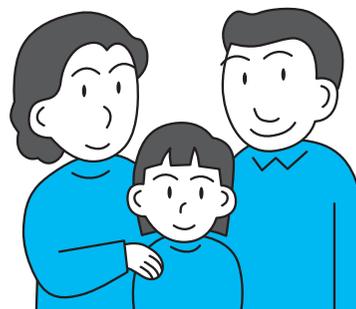
保育・教育施設に通う児童・生徒数

年 度	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
平成7	374		2,676	1,247	
8	396		2,616	1,232	2,947
9	432		2,516	1,249	2,725
10	485	756	2,457	1,221	2,628
11	510	801	2,449	1,212	2,566
12	527	771	2,429	1,194	2,576
13	560	839	2,421	1,172	2,556
14	596	878	2,473	1,115	2,496
15	596	912	2,539	1,041	2,443
16年	594	914	2,598	1,014	2,342

注) 保育所は各年4月1日現在、他は各年5月1日現在 資料: 逗子市

●子育ての分担が母親に偏り、「自分のやりたいことができない」との実感がみられます●

- ◆0～11歳の子どもを育てる家庭の約8割が「夫婦+子どものみ」の家族構成です。
- ◆多くの保護者が、子育ての分担は「父母同じが理想」と考えていますが、実際には大きく母親に偏っています。
- ◆子育て中も「趣味」や「仕事」など自分のことをしたいが「できにくい」と感じている母親が過半数に上ります。乳幼児期の子どもと過ごす母親のストレスが大きいようです。

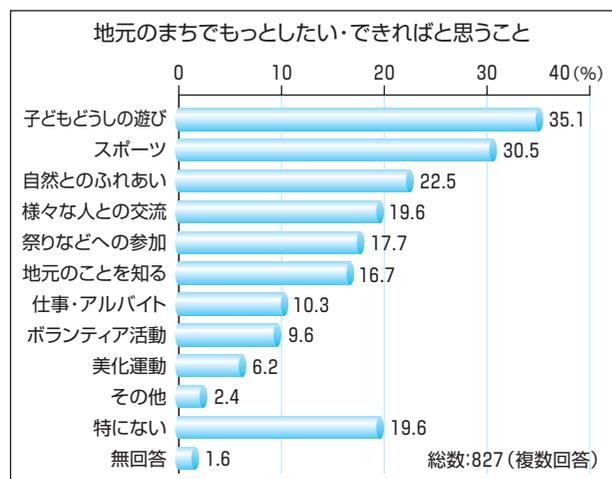
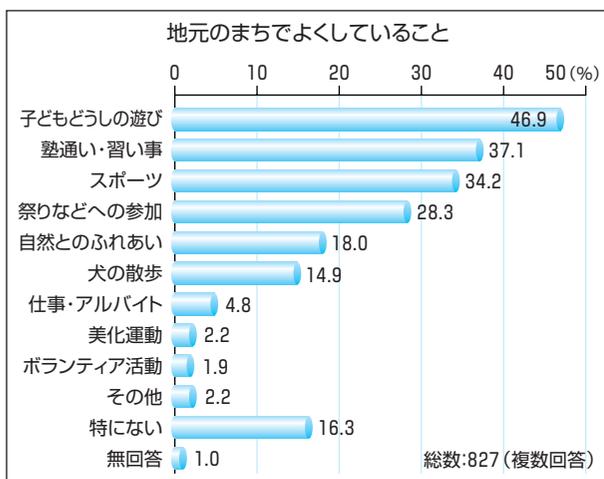


●●保育サービスの利用ニーズの高まりとともに、 さまざまな活動や支援が広がっています●●

- ◆1～6歳児の2～3割が保育所などの保育サービスを利用し、4～6歳児の5～6割が幼稚園に通っています。
- ◆保育所（市内5か所:定員約600名）は、通常保育のほか、一時保育、育児相談、子育て家庭交流事業などの地域育児強化事業を実施しています。なお、保育所待機児童は少ない状況が続いています。
- ◆幼稚園（市内5か所:約600名通園）の保護者の中にも、延長保育や長期休暇対応などの預かり保育を望む声が少なくありません。
- ◆「ずしファミリーサポートセンター」も子育てについての助け合いを行っています。幼稚園や保育所の送迎代行などの利用が多く、母親の就労いかんにかかわらず登録が増えています。
- ◆小学校低学年向けには「放課後児童クラブ(学童クラブ)」(4か所:利用約100名)があります。また、学校の余裕教室を活用した遊びの場としての「ふれあいスクール事業(ほっとスペースを除く)」(3か所:学校区により利用の仕組みが異なる)でも生活支援型の利用がみられます。

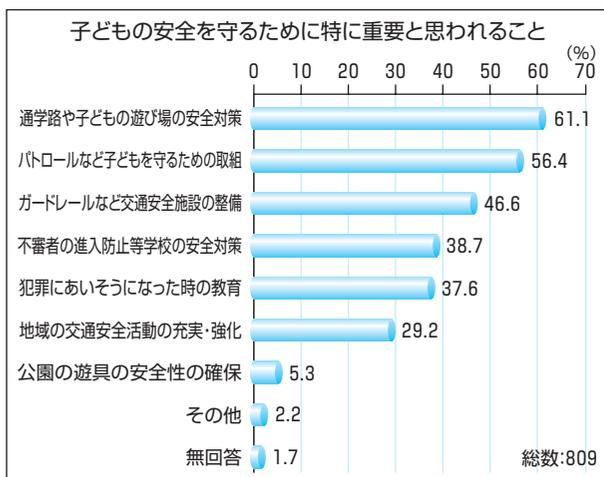
●●保護者も子どもも地域の中で 「もっと遊ばせたい・さまざまな活動をしたい」と考えています●●

- ◆小中高校生の3人に1人は市外に通学しています。塾や部活動で忙しいと感じている子どもも少なくありません。
- ◆幼い子どもの保護者は、もっと「自然とのふれあい」や「子どもどうしの遊び」をさせたいと考えています。小中高校生は、逗子市の自然やまちの中で「もっと色々な経験をしたい」と考えています。

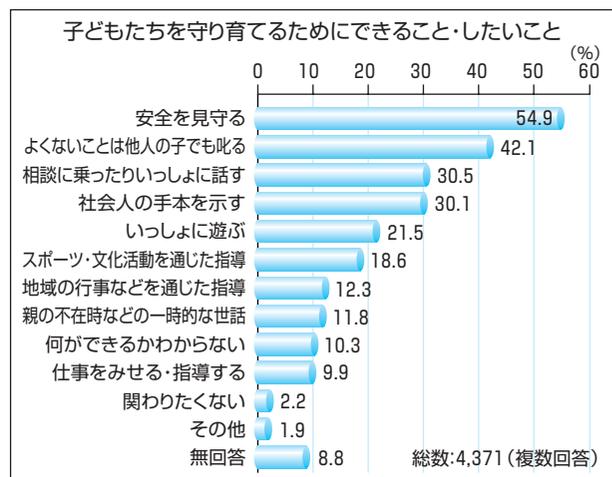


資料:地域福祉についてのアンケート調査(青少年調査)

- ◆小学校低学年の子どもの保護者は、子どもの安全を守るために「通学路や遊び場の安全対策」や「パトロール」などが重要と考えています。一方、市民は、子どもたちを守り育てるためにできること・したいことの第一に「安全を見守る」をあげています。



資料:次世代育成支援に関するアンケート調査(就学児童調査)



資料:地域福祉についてのアンケート調査(一般市民調査)

●定期的な保育等

事業区分	5年間の目標値		区分	備考
	H16年度	H21年度		
通常保育(就学前)	600人(5か所)	630人(5か所)	拡充	午前7時～午後6時までの保育
延長保育(就学前)	150人(5か所)	150人(5か所)	継続	上記の時間を超えて行う保育
休日保育(就学前)	0人(0か所)	20人(1か所)	新規	日曜、祝日等に行う保育
放課後児童クラブ (学童クラブ)	100人(4か所)	150人(6か所)	拡充	放課後保護者が不在の家庭の子ども(概ね10歳未満)に生活の場などを提供

●一時預かり型事業

一時保育(就学前)	10人(1か所)	20人(2か所)	拡充	レスパイト的利用も可
特定保育(就学前)	0人(0か所)	10人(1か所)	新規	勤務日に即し週3日程度等の保育

●地域における子育て支援事業

ファミリーサポートセンター	1か所	1か所	拡充	支援会員拡大へ(充実)
子育て支援センター	1か所	1か所	拡充	巡回相談実施へ(充実)

計画の推進に向けて



●●市内体制の整備●●

◆子ども全般に係る相談窓口の創設

- ・子どもに関する一義的な相談窓口を開設するとともに、さまざまな施設・機関で受け付けた相談情報を一元化し、個人情報保護しながら、専門機関などに橋渡ししていけるようにします。
- ・多面的な相談窓口の総括センター(ワンストップサービス)として機能させていきます。

◆子ども全般に係る担当所管の創設

- ・子どもに関する担当所管の一元化を目指します。
- ・次世代育成支援対策に関わる市内ネットワークのセンター機能の役割を担います。
- ・公共私連携の仕組みや広域連携の仕組みづくりを進めます。
- ・本計画の進行管理に関する事務を行います。

●●次世代育成支援対策に従事する者の育成●●

- ◆次世代育成支援対策に関わる市職員、相談員などに対する研修の充実を推進します。

●●本計画の進行管理●●

- ◆本計画の実施状況を把握し、点検、評価などを行います。
- ◆本計画の実施状況を公表します。
- ◆その後の対策を実施するとともに、計画の見直しなどに反映させていきます。